



■計画の期間

平成22年度～平成26年度(5年間)

■計画の目標

集中豪雨の多発に伴う被害リスクの増大に対し、浸水対策を実施することにより、水害に強い県土づくりを推進し、安全安心な市民生活の確保を図ります。

■事業の進捗状況

設定した目標達成に向けて、河川改修や長寿命化対策等を実施しました。最終年度(平成26年度末)までに実施した主な事業は以下のとおりです。

河川改修

河川改修により、川幅を広げました。
洪水時には、河川水位が下がり、被害の軽減が期待されます。

(一)砂川(岡山市東区)

改修前



改修後



長寿命化対策

長寿命化計画に基づき、老朽化した施設を予防保全的な整備を実施することにより、施設の安全度の向上を図りました。

千町川大水門(岡山市東区)

整備前



整備後



ダム事業

治水ダムの機能を適切に発揮するため、管理設備の改良更新を実施し、信頼性及び安全性の向上を図りました。

津川ダム(津山市)

更新前



更新後





■事業効果の発現状況及び最終成果目標の実現状況

最終年度(平成26年度末)の状況は次のとおりです。

指標①吉井川圏域における浸水被害軽減戸数の増加

当初現況 (H22当初)	-	中間目標	423戸	最終目標	845戸
		中間実績 (H24年度末)	446戸 (53%)	最終実績 (H26年度末)	561戸 (66%)

指標①旭川圏域における浸水被害軽減戸数の増加

当初現況 (H22当初)	-	中間目標	4,595戸	最終目標	9,189戸
		中間実績 (H24年度末)	2,930戸 (32%)	最終実績 (H26年度末)	4,897戸 (53%)

指標①高梁川圏域における浸水被害軽減戸数の増加

当初現況 (H22当初)	-	中間目標	848戸	最終目標	1,710戸
		中間実績 (H24年度末)	1,611戸 (94%)	最終実績 (H26年度末)	1,699戸 (99%)

指標②長寿命化計画の策定

当初現況 (H22当初)	0施設	最終目標	12施設	
	中間実績 (H24年度末)	9施設	最終実績 (H26年度末)	12施設

指標③ダム管理用設備の年間故障回数

当初現況 (H22当初)	43回	最終目標	0回	
	中間実績 (H24年度末)	28回	最終実績 (H26年度末)	12回

指標①:事業箇所における浸水被害軽減戸数の増加

近年の公共事業費削減の影響もあり、吉井川圏域と旭川圏域は、目標を達成することができませんでしたが、浸水被害軽減戸数は、着実に増加しました。高梁川圏域は、2河川の計画区間が完成し、概ね目標を達成することができました。

指標②:長寿命化計画の策定

大規模な河川管理施設であるダム・防潮水門・排水機場12施設については、平成26年度までに長寿命化計画を策定し、長寿命化対策に着手しました。

指標③:ダム管理用設備の年間故障回数を低減させ、操作規則に基づく安全確実な運用を可能とする

洪水調節や利水補給などに関する演算処理や放流設備の操作を行うためのダム管理用設備について、ダムの目的や規模に応じた設備機能の選択・集約による合理化とコスト縮減を図りながら、改良更新事業を実施しました。目標を達成することができませんでしたが、H26年度までの設備更新により年間故障回数を12回まで低減させることで、信頼性及び安全性が向上しました。

■今後の方針

引き続き、次期計画において事業を推進していきます。

引き続き、次期計画において、河川改修やダム・防潮水門・排水機場の長寿命化対策を推進し、川の安全安心を確保することにより、全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を目指します。

